



平成21年 1月29日

各 位

会 社 名 **株式会社 日 阪 製 作 所**
代 表 者 名 代表取締役社長 村上 壽憲
コード番号 6 2 4 7
上場取引所 東証・大証 第1部
問 合 せ 先 管理部統括部長 小西 康司
電 話 番 号 0 6 - 6 2 0 1 - 3 5 3 2

平成21年3月期業績予想の修正、配当予想の修正

及び特別損失の追加計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて、平成21年3月期業績予想の修正、配当予想の修正を決議し、並びに特別損失の追加計上を行うこととなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年3月期の通期業績予想の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

①修正内容

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) 平成20年10月30日発表	36,000	6,000	6,300	3,000	92円32銭
今回修正予想 (B)	35,000	4,700	5,000	1,400	43円09銭
増減額 (B-A)	△1,000	△1,300	△1,300	△1,600	△49円23銭
増減率 (％)	△2.77%	△21.66%	△20.63%	△53.33%	△53.32%
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	29,190	4,618	5,079	2,243	68円97銭

②修正理由

第3四半期の結果も含め、国内外の景気の動向、受注残高、並びに受注・引き合いの動向などから精査の結果業績予想値を下方修正いたしました。

受注は、国内案件は昨年12月中旬以降は歴史的な落ち込みとなっておりますとともに、引き合い環境では大きな落ち込みのないものの、海外大口案件などでも成約時期の遅れで受注の空白状態が生じており、350億円から260億円に修正しております。

売上高は、既受注分においては大きなキャンセルもなく計画を若干下回る程度で推移するものと想定しておりますが、キャンセル・フィーの発生しない直近の受注分のキャンセル、当期売上に係わる今後の受注低迷により、360億円から350億円に修正しております。

営業利益は、原材料の評価減、事業環境の悪化による利益率の低下などで、今後発生が想定される原材料の評価減を織り込み 60 億円から 47 億円に修正しております。

経常利益は、営業利益の修正に連動し、63 億円から 50 億円に修正しております。

当期純利益は、営業利益の修正と、当第 3 四半期までに計上いたしました有価証券評価損等の特別損失を基準とし、30 億円から 14 億円に修正しております。

注) 金融市場の情勢如何では更なる有価証券評価損等が純利益に影響する可能性があることから、金融市場等の動向を慎重に見極める必要があります。また、今後の受注動向如何では売上・営業利益・経常利益が下振れる可能性もあり、業績予想につき修正する必要がある場合は速やかにお知らせいたします。

2. 平成 21 年 3 月期配当予想の修正

期末の 1 株当たりの配当予想について、下記のとおり修正することを決議いたしました。

①修正内容

	期 末	年 間
前回予想（平成 20 年 10 月 30 日）	1 6 円	3 2 円
今回修正予想	1 4 円	3 0 円
（ご参考）前期の 1 株当たり配当金実績	1 5 円	3 0 円

②修正理由

当社は、安定的な配当の維持・継続とともに業績に裏付けされた適正な利益配分を配当性向 30%以上を目途に行うことを基本方針としており、当期の期末配当金につきましては、経営環境の悪化に伴い通期の業績予想を下方修正することから、誠に遺憾ではありますが期末配当予想を 1 株当たり 14 円とし、前年据え置き年間 30 円（配当性向 69.6%）とさせていただきます。

3. 特別損失の追加計上

保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、平成 21 年 3 月期第 3 四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要があるためお知らせします。

記

① 平成 21 年 3 月期第 3 四半期における有価証券評価損

(A)平成 21 年 3 月期第 3 四半期会計期間（平成 20 年 10 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（＝イ－ロ）	516 百万円
(イ)平成 21 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	1,517 百万円
(ロ)直前四半期（平成 21 年 3 月期第 2 四半期）累計期間（平成 20 年 4 月 1 日から平成 20 年 9 月 30 日まで）の有価証券評価損の総額	1,000 百万円

※四半期における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※当社は単体決算で、決算期末は 3 月 31 日です。

② 純資産額・経常利益額・当期純利益額に対する割合

(B) 平成 20 年 3 月期末の純資産額	39,996 百万円
(A / B × 100)	1.29%
(イ / B × 100)	3.79%
(C) 平成 20 年 3 月期の経常利益額	5,079 百万円
(A / C × 100)	10.17%
(イ / C × 100)	29.86%
(D) 平成 20 年 3 月期の当期純利益額	2,243 百万円
(A / D × 100)	23.04%
(イ / D × 100)	67.63%

注) 当社は、債券の格付けが「BBB」格以上の格付けが付与されている債券を、満期保有目的の意志で保有する場合に、満期保有目的の債券に分類しております（満期保有目的の債券たる適格要件）。満期保有目的の債券に分類することが出来る債券は、信用リスクが高くない債券が対象となるものであることから、満期時には額面満額の償還がなされるものであり、満期保有目的の債券たる適格要件が維持される限りは減損の対象とはいたしません。但し、今般の金融市場の混乱は、異常な状況であり債券の時価も明確でなく、債券の格付けの信用性にも危惧があることから、安全性、保守性の観点から、満期保有目的債券について有価証券評価損を 250 百万円計上しております。

- ③ 固定資産除却損 233 百万円及び新工場竣工式典費用 46 百万円を含め、特別損失の合計は 1,796 百万円となります。

以 上

業績見通しにつきましては、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づいて判断を
しており、今後、様々な要因によっては予想数値と異なる可能性がございます。